

既存化学物質の生態影響に関する情報

(平成17年9月30日3省合同審議会)

官報公示 整理番号	物質名	頁
5-1051	1, 3, 5 - トリス(2 - ヒドロキシエチル) - 1, 3, 5 - トリアジン - 2, 4, 6 - (1H, 3H, 5H) - トリオン	1
5-1028	2, 4 - ジアミノ - 6 - フェニル - s - トリアジン	13
3-206	4 - (1 - メチルエチル)アニリン	22
4-15	4 - エチル - 1, 1 - ビフェニル	31
2-243	1, 1, 1 - トリス(ヒドロキシメチル)エタン	43
3-1307	ジトリデシルフタラート	55
3-2011	2 - メチル - 5 - ニトロベンゼンスルホン酸	67
3-204	0 - アセトアセトトレイジド	79
2-22	4 - メチル - 1 - ペンテン	88

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

1, 3, 5-トリス(2-ヒドロキシエチル)-1, 3, 5-トリアジン-2, 4, 6(1H, 3H, 5H)-トリオンの藻類 (*Selenastrum capricornutum*) に対する生長阻害試験

試験番号

9 B 4 4 8 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 201「藻類生長阻害試験」(1984年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質: 1, 3, 5-トリス(2-ヒドロキシエチル)-1, 3, 5-トリアジン-2, 4, 6(1H, 3H, 5H)-トリオン
- 2) 暴露方式: 止水式, 振とう培養(100rpm)
- 3) 供試生物: *Selenastrum capricornutum* (ATCC22662)
- 4) 暴露期間: 72時間
- 5) 試験濃度(設定値):
対照区, 1000 mg/L(限度試験)
- 6) 試験液量: 100 mL(OECD培地) / 容器
- 7) 連数: 3容器 / 濃度区
- 8) 初期細胞濃度: 1×10^4 cells/mL
- 9) 試験温度: 23 ± 2 °C
- 10) 照明: 4000 lux (±20%の変動内, フラスコ液面付近) で連続照明
- 11) 分析法: CE法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質の測定濃度が開始時において設定値の±20%を超えなかったため、下記の生長障害濃度の算出には設定値を採用した。

2) 生長曲線下面積の比較による障害濃度

50%生長障害濃度 EbC50 (0-72) : >1000 mg/L

最大無作用濃度 NOECb (0-72) : >1000 mg/L

3) 生長速度の比較による障害濃度

50%生長障害濃度 ErC50 (24-48) : >1000 mg/L

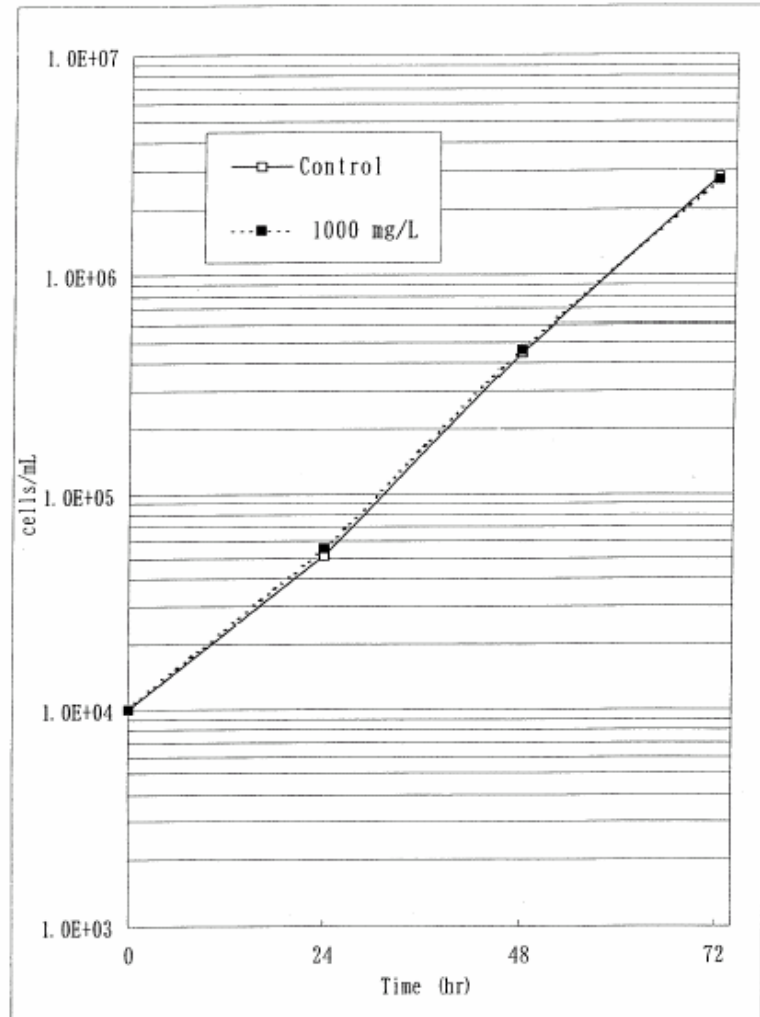
最大無作用濃度 NOECr (24-48) : >1000 mg/L

50%生長障害濃度 ErC50 (24-72) : >1000 mg/L

最大無作用濃度 NOECr (24-72) : >1000 mg/L

1,3,5-トリス(2'-ヒドロキシエチル)イソシアヌール酸 (Cas. 839-90-7)

生長曲線



Values in legend are given in the nominal concentration.

図 藻類生長曲線

毒性値

- ・0-72hErC₅₀: > 1000 mg/L
- ・0-72hNOECr: 1000 mg/L

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

1, 3, 5-トリス (2-ヒドロキシエチル)-1, 3, 5-トリアジン-2, 4, 6 (1H, 3H, 5H)-トリオンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

試験番号

9 B 4 7 0 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202 「ミジンコ類, 急性遊泳阻害試験および繁殖試験」 (1984年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 1, 3, 5-トリス (2-ヒドロキシエチル)-1, 3, 5-トリアジン-2, 4, 6 (1H, 3H, 5H)-トリオン
- 2) 暴露方式： 止水式, 水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 48時間
- 5) 試験濃度 (設定値) :
対照区, 1000 mg/L (限度試験)
- 6) 試験液量： 100 mL/容器
- 7) 連数： 4 容器/濃度区
- 8) 供試生物数： 20頭/濃度区 (5頭/容器)
- 9) 試験温度： 20±1℃
- 10) 照明： 16時間明/8時間暗
- 11) 分析法： C E 法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質の測定濃度が設定値の±20%以内であったため、各影響濃度の算出には設定値を採用した。

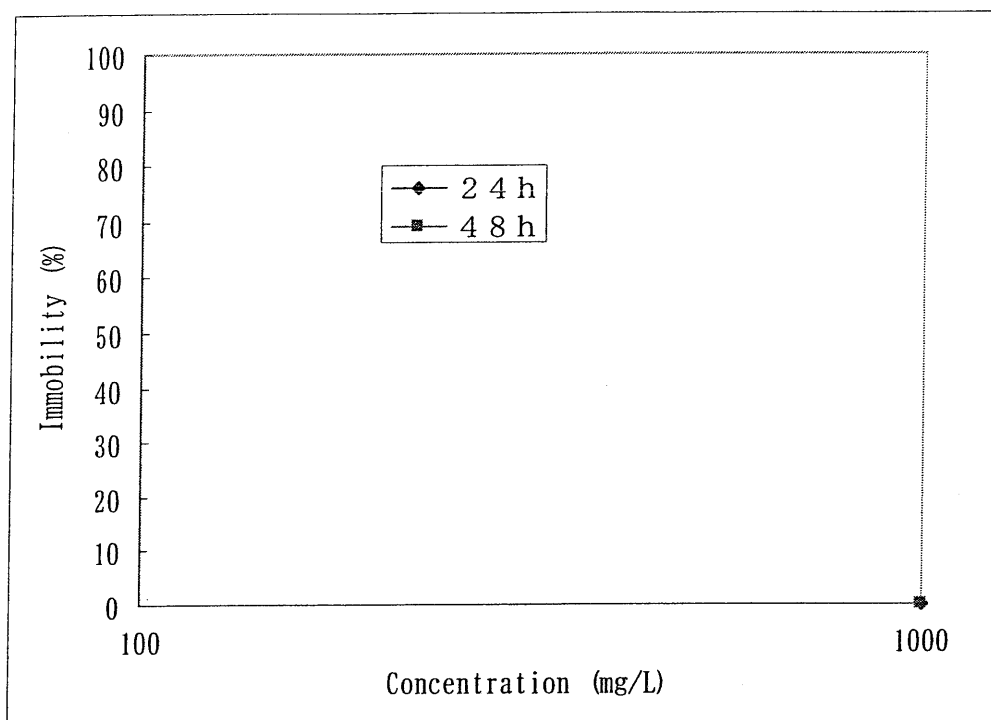
2) 24 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : > 1000 mg/L (95%信頼限界 : 算出不可)
最大無作用濃度 (NOECi) : > 1000 mg/L
100%阻害最低濃度 : > 1000 mg/L

3) 48 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : > 1000 mg/L (95%信頼限界 : 算出不可)
最大無作用濃度 (NOECi) : > 1000 mg/L
100%阻害最低濃度 : > 1000 mg/L

Figure 1 Concentration-Response (Immobility) Curve



要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

1, 3, 5-トリス (2-ヒドロキシエチル) -1, 3, 5-トリアジン-2, 4, 6 (1H, 3H, 5H) -トリオンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

試験番号

9 B 4 9 2 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドラインNo. 211 「オオミジンコ繁殖試験」 (1998年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 1, 3, 5-トリス (2-ヒドロキシエチル) -1, 3, 5-トリアジン-2, 4, 6 (1H, 3H, 5H) -トリオン
- 2) 暴露方式： 半止水式 (48時間毎に試験液の全量を交換)
水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 試験濃度 (設定値) :
対照区, 100mg/L (限度試験)
- 6) 試験液量： 80 mL/容器
- 7) 連数： 10容器/濃度区
- 8) 供試生物数： 10頭/濃度区 (1頭/容器)
- 9) 試験温度： 20±1℃
- 10) 照明： 16時間明/8時間暗
- 11) 分析法： C E法

結 果

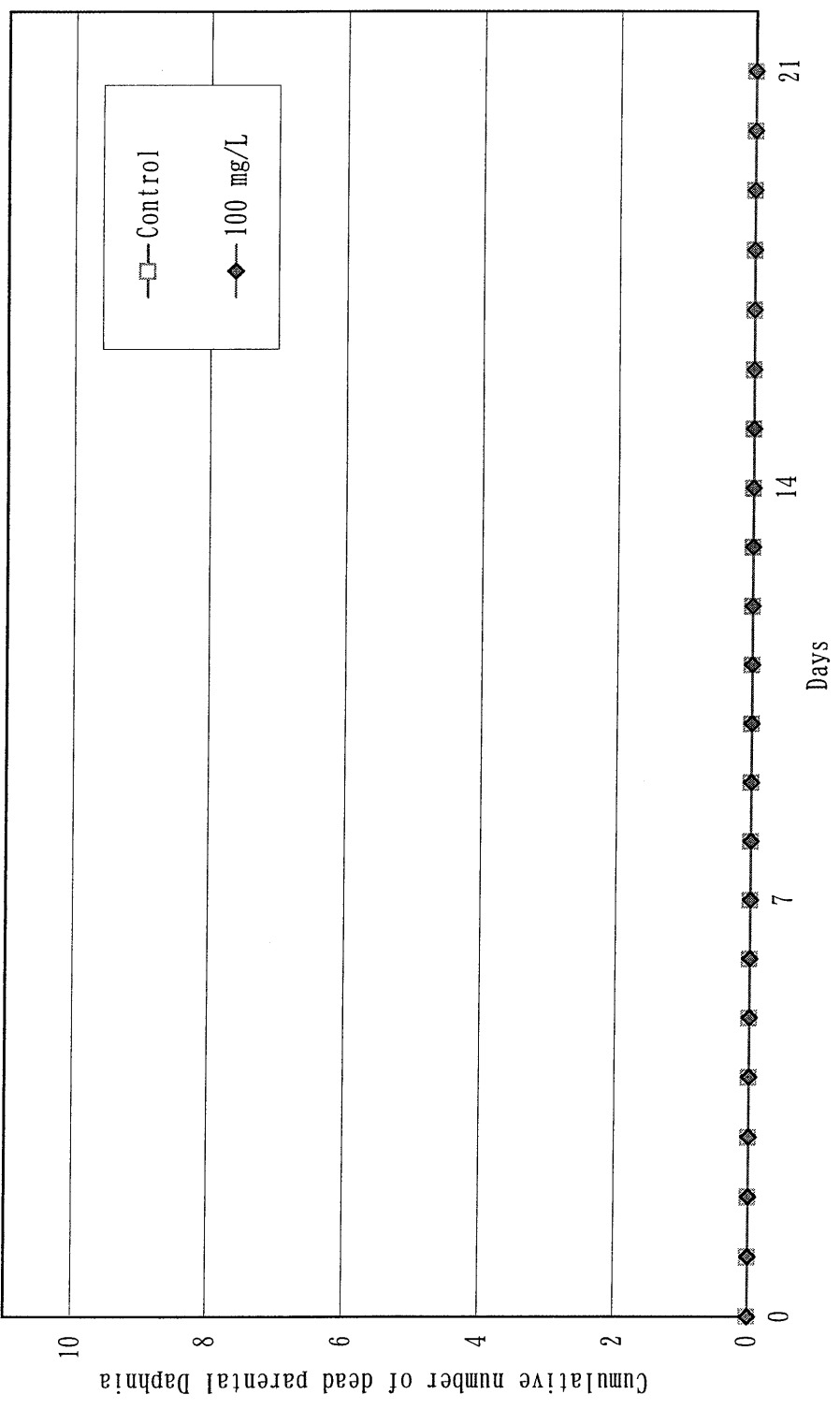
1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質の測定濃度が設定値の±20%以内であったため、各影響濃度の算出には設定値を採用した。

2) 21日間暴露の各影響濃度結果を以下に示す。

親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) :	>100 mg/L	(95%信頼限界 : 算出不可)
50% 繁殖阻害濃度 (EC50) :	>100 mg/L	(95%信頼限界 : 算出不可)
最大無作用濃度 (NOEC) :	>100 mg/L	
最小作用濃度 (LOEC) :	>100 mg/L	

Figure 1 Cumulative Numbers of Dead Parental *Daphnia*

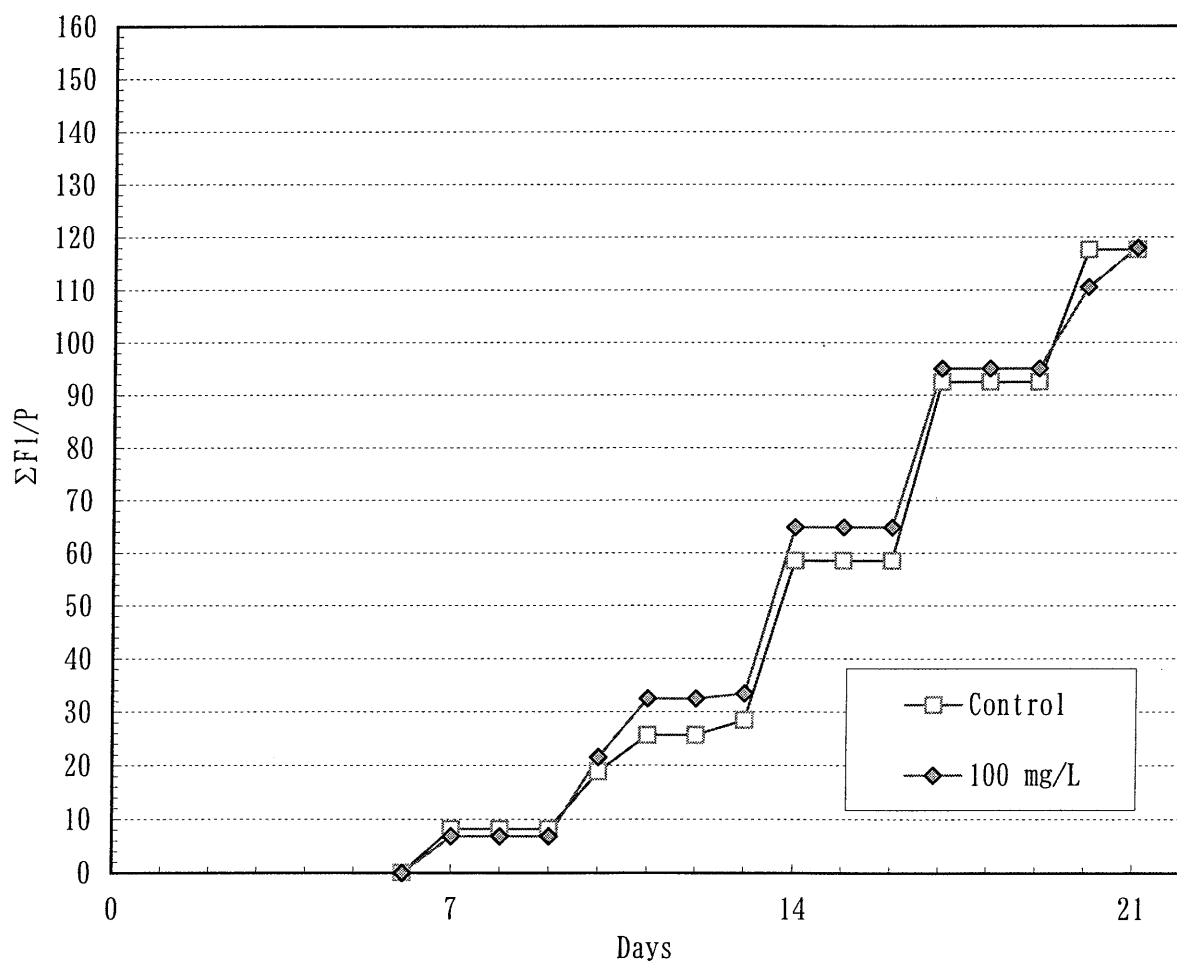


Values in legend are given in the nominal concentration.

Table 4 Mean Cumulative Numbers of Juveniles Produced per Adult Alive for 21 Days ($\Sigma F1/P$)

Nominal Conc.	Days															
	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
Control	0.0	8.2	8.2	8.2	18.9	25.7	25.7	28.5	58.6	58.6	58.6	92.5	92.5	92.5	117.7	117.7
100 mg/L	0.0	6.8	6.8	6.8	21.6	32.5	32.5	33.5	64.9	64.9	64.9	95.1	95.1	95.1	110.6	118.0

Figure 2 Time Course of $\Sigma F1/P$ for Each Concentration Level



Values in legend are given in the nominal concentration.

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

1, 3, 5-トリス (2-ヒドロキシエチル)-1, 3, 5-トリアジン-2, 4, 6 (1H, 3H, 5H)-トリオンの
ヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号

9 B 5 1 4 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 203 「魚類毒性試験」 (1992年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 1, 3, 5-トリス (2-ヒドロキシエチル)-1, 3, 5-トリアジン-2, 4, 6 (1H, 3H, 5H)-トリオン
- 2) 暴露方式： 半止水式 (24時間毎に試験液の全量を交換) , 水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 暴露期間： 96時間
- 5) 試験濃度 (設定値) : 対照区, 100mg/L (限度試験)
- 6) 試験液量： 5. 0L/容器
- 7) 連数： 1 容器/濃度区
- 8) 供試生物数： 10尾/濃度区
- 9) 試験温度： 24±1℃
- 10) 照明： 室内光, 16時間明/8時間暗
- 11) 分析法： C E 法

結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度：測定濃度は設定濃度に対して±20%以内であった。したがって、結果の算出は設定濃度に基づいて行った。
- 2) 96 時間の半数致死濃度 (LC50) : >100 mg/L

Figure 1 Concentration-Response (Mortality) Curve

